

職場体験学習を終えて

(宮前小学校)

愛媛県立松山西中等教育学校 2-3 菅野琉

1 選んだ理由

僕はテストのたびに、周りの人に勉強を教えているので、その延長線上として、自分の経験を生かせると思ってこの職場を選んだ。また、僕にとって身近な職業なので、どのような仕事をどのようにこなしているのかが気になっていたのもこの職場を選んだ理由の一つだ。

2 体験を通して勉強になったこと

学校の先生は大変な仕事だと思っていたが、それと同じくらいやりがいがあることが分かった。事前訪問で、子供の成長する姿を見られるのが教師のよいところだと伺っていたが、5日間の体験を通して、児童とも心を通わせて話したり、勉強を教えたりするうちに、児童の成長のうれしさなどを、短い期間ながらも実感することができた。しかしながら、働くうえでは大変なことも多いということも学ぶことができた。担当の先生は、大変な仕事として、お金関係の仕事など、子供に直接関係のないことが大変だとおっしゃっていた。教師というのは子供に付き添っていかないといけないのに、それらの仕事は子供とふれあう時間を減らすことになってしまうと聞き、とても印象に残った。「教師のやりがい」や「子供との向き合い方」など、とても貴重なことを学ぶことができた。

3 自分が体験したこと

この体験学習では様々なことを体験させてもらった。宿題のチェックや体育のサポート、児童に勉強を教えたりテストの解説をしたりとたくさんの貴重な体験をさせてもらった。勉強を教えたりテストの解説をしたりという仕事は、自分の今までの経験が生かせていたと思った。これらの仕事は、自分にぴったりだと思った。僕が教えたとき、児童の表情はみんな明るく、僕自身もほっとした。また、「仕事」とは直接関係がないかもしれないが、昼休みに鬼ごっこをして遊んだことも心に残った。僕を含め全員が楽しそうにしていたし、仲が深まったみんなと一緒に遊ぶことは、とても楽しかった。これも、担当の先生方が大事にしていた「児童とのふれあい」なのだと思った。また、最終日に児童と別れるのは寂しかったが、児童とのふれあいがうまくいった証拠だと思った。

4 体験を通してさらに知りたくなったこと

僕が実際に体験した仕事は、ほんの一部だと思うので他の仕事についても体験したいと思ったし、上手く児童に教えるコツも、さらに知りたいと思った。